



令和6年度 始業式

令和6年度 学校教育目標
共に学び、高め合う、希望あふれる生徒の育成

経営スローガン
「凡事徹底」 ～当たり前前かが、当たり前前でできる学校～
「chance・challenge・change」 ～生徒の可能性を広げる学校～

本日、令和6年度がスタートしました。生徒たちは新年度に対する希望を胸に、朝から元気よく登校しました。始業式では、この1年間を見通して下記の2点を伝えました。

○夢や志を大切に、実現するために自ら積極的に学ぶ姿勢をもつ

学びの内容は教科だけでなく、行事や生徒会活動、部活動などすべてです。これまで以上に自分を伸ばすために準備や計画を自ら考えましょう。

○多様な価値を尊重し、平和で豊かな学校生活を送るために努力する

学校生活の中で何ができるのか、行動できるのか、クラスメイトの良さを認め合い、よりよい学校を目指しましょう。

深堀中生の活躍

★長崎新聞 声～若い広場（3月26日（火）掲載）

3年生 「特技の書道 もっと努力する」

私は、大好きでやり始めると楽しくてとまらない特技があります。それは小学1年生からやっている書道です。昔は書道教室に行くのがすごく嫌で、早く辞めたいと思っていました。それが大好きで仕方ないものになったのは、きっと書道の先生のおかげです。先生は私にとって一生の憧れで、一生ついていきたいという存在です。先生は、私にやる気がなくても優しく、ていねいに教えてくれました。条幅という大きな半紙に、大きな筆で楽しくきれいに書くことを教えてくれました。その日から、もっと字をうまくかけるようになって、書道を特技といたい！と思うようになりました。特待生という小中学生の最高ランクを目標にして必死に練習し、達成出来たら書道を辞めようと思っていた。実際に目標を達成するとうれしくて、辞めようと思っていたけれど、もっと上を目指したい！特技といえるようにもっと実力を伸ばしたい！という思いから続けることにしました。中学2年生になった今、嫌でも書道教室に行った昔の自分に感謝しています。これからも努力を続け、もっと胸を張って特技といえるように日々字を書き続けます

今年度の深堀中職員の構成については入学式以降にお知らせします。今年度もできる限り学校の様子をお伝えしますので、よろしくお願ひいたします。